

平成30年度事業報告

当協会は、県内畜産農家の経営の安定に寄与し、本県の畜産振興を図るとともに、畜産や牧场景観を広く一般県民等に理解してもらうため、県立八ヶ岳牧場及びまきば公園の指定管理者として基本協定書に基づき同施設の業務管理を行うとともに事業目的の達成に努め、その事業実績は次のとおりである。

1) 八ヶ岳牧場管理受託業務

(1) 県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却業務

系統的に選抜された優良な県有肉用繁殖牛を〔表1〕のとおり、本場で飼養し計画交配を行い、これらの母牛から生産された子牛を育成した。また、雌の一部は更新牛として場内に保留し、その他については〔表2〕のとおり、県内の肉用牛振興地域の農協等に売却した。

なお、動物（成牛）の廃用は、山梨県食肉流通センターに出荷したもので、売却は経産の妊娠牛を売却した頭数である。

〔表1〕 県有牛の飼養状況 (頭)

区分	動物（成牛）頭数								生産物（子牛・育成牛）頭数							
	前年残	区分換	導入	売却	廃用	保管転換	死亡	計	前年残	出生	区分換	売却	廃用	保管転換	死亡	計
雌	196	21		-10	-8	0	0	199	93	75	-21	-49	-1		-3	94
雄									69	101					-3	71
去勢												-94	-1		-1	
合計	196	21	0	-10	-8	0	0	199	162	176	-21	-143	-2	0	-7	165

〔表2〕 農協別売却頭数 (頭)

区分	農協別売却頭数													
	梨 北							笛 吹		南アルプス市		山梨みらい	山梨県酪	合計
小淵沢	高根	清里	穂坂	白州	双葉	韮崎	八代	中道北	野々瀬	南湖				
去勢牛		8	18	26	5	17	6	4			10		94	
育成雌牛		5	7	8	4	2	4	3		9	2	1	45	
育成妊娠			1	1								2	4	
経産妊娠		2	7	1									10	
計	0	15	33	36	9	19	10	7	0	9	12	3	153	

(2) 農家家畜受託状況

夏期受託家畜は、天女山分場を中心に放牧管理(5/1～10/31)を、冬期受託家畜は、本場牛舎で飼養管理(11/1～4/30)を行い、農家等が保有する乳用牛、肉用牛の受託管理の状況は〔表3〕、〔表4〕のとおりで、肉用繁殖牛の受託頭数は増えている。継続して預託されている牛は翌年度への繰り越し処理を行った。

また、受託期間中農家の希望に沿って、種付け月齢に到達した牛に人工授精及び受精卵移植による種付けを行い、〔表5〕のとおり、そのほとんどが受胎(妊娠)した。

〔表3〕 農家家畜受託状況 (頭)

		受託頭数			
		乳用牛	肉用牛	馬	合計
前年度より継続		189	67	0	256
本年度	入牧頭数	214	202	0	416
	退牧頭数	202	220	0	422
	死亡頭数	5	2	0	7
合計		196	47	0	243

〔表4〕 受託家畜の実頭数及び延べ頭数 (頭)

区分	乳用牛	肉用牛	馬	合計
受託実頭数	403	269	0	672
受託延頭数	87,669	36,414	0	124,083

〔表5〕 受託家畜の種付状況(AI:人工授精 ET:受精卵移植) (頭)

	種付頭数	AI 受胎頭数	ET 受胎頭数	合計受胎頭数	妊娠率
乳用牛	217	169	48	217	100.0%
肉用牛	148	142	2	144	97.3%
合計	365	311	50	361	98.9%

(3) 牧草地等の維持管理業務

本場並びに分場の牧草地に対し、〔表6〕のとおり計画的に肥料散布を行い、良質な牧草を生産するとともに、冬期用貯蔵飼料(サイレージ)の生産状況は〔表7〕のとおりである。

また、牧草地内の雑草の防除、牧道の補修整備等を随時行うとともに、車両・農機具の点検整備を行い、草地並びに車両・農機具等の保全管理に努めた。

〔表6〕 肥料散布状況 (ha・t)

肥料散布面積と施肥量			
区分	放牧地	採草地	合計
散布面積	251.1ha	73.4ha	324.5ha
施肥量	牧草地用複合肥料	126.3t	177.6t
	粒状炭酸苦土石灰	43.8t	92.1t
	計	170.1t	269.7t

[表7] 牧草生産状況 (t)

牧草生産量 (生草換算)					
区分	放牧地	採草地			合計
		サレゾ用	乾草用	計	
生産量	5,516	2,619	72	2,691	8,207

(4) 農家の巡回調査指導業務

八ヶ岳牧場への預託牛飼養農家及び当牧場からの売却牛飼養農家等の巡回調査を実施し、発育や繁殖状況等について調査し、飼養・繁殖管理技術に係る指導を行った。

[表8] 農協別農家巡回状況 (戸)

区分	梨北農協	県酪農協	笛吹農協	クレイン	山梨みらい	南アルプス	合計
戸数							
乳牛	15	1		13			29
肉牛	18	1	4	1	4	3	31

(5) 受精卵移植普及定着化業務

当場では、畜産酪農技術センター(受精卵供給メインセンター)に協力して、優良肉用牛からの受精卵採取のために必要な供卵牛(受精卵を採取する牛)を供給(前年残10頭・新規貸出5頭・返却7頭)するとともに、当場で繋養管理している優良雌牛(33頭)に過剰排卵処理(ホルモン投与)を行い供卵牛として提供するなど、サブセンターとしての役割を果たした。

(6) 家畜糞尿堆肥化処理業務

まきばの郷整備事業により牧場内に整備された家畜糞尿処理施設を活用し、牧場・馬事振興センター及び北杜市小淵沢町内から排出される家畜糞尿の処理[表9]を行った。

[表9] 家畜糞尿堆肥の生産状況 (m³)

家畜糞尿搬入量と製品堆肥搬出量				
区分	八ヶ岳牧場	馬事振興センター	小淵沢町流通組合	合計
糞尿搬入量	4,393	864	4,089	9,346
堆肥生産量	2,197	432	2,044	4,673
堆肥搬出量	2,040	587	1,792	4,419

(7) その他の業務

ア. 職員研修等

協会職員の資質の向上を図るため、先進地視察や全国発表会等に職員を参加させるほか、トラクター免許取得講習会や危険物取扱免許講習会等に該当職員を参加させた。

2) まきば公園管理受託業務

(1) まきば公園の利用状況

4月20日(金)に開園し、11月11日(日)までの開園期間中に227千人[表10]が来園し、来園者の応接対応と891団体に対する研修・案内を行った。また、公園施設の保守管理、植栽・草地の維持管理を行うとともに、ふれあい動物の飼養管理及びめん羊の増殖管理を行った。

[表10] 月別入園者数の状況 (人・台・団体)

月	開園日数	推定入園車両数	推定入園者数	車両/日	入園者/日	予約団体数
4月	10	5,160	13,350	516	1,335	17
5月	27	11,600	34,530	430	1,279	102
6月	26	5,550	21,650	213	833	139
7月	28	10,360	33,020	370	1,179	147
8月	30	21,770	60,310	726	2,010	127
9月	26	8,710	27,300	335	1,050	130
10月	26	8,380	28,700	322	1,104	178
11月	10	2,540	8,530	254	853	51
合計	183	74,070	227,390	405	1,243	891

(2) 県有めん羊の増殖業務

まきば公園内の動物ふれあい施設において、サフォーク種の飼養管理を行った。[表11]

[表11] 県有緬羊の飼養状況 (頭)

区分性別	動物(成めん羊)頭数						生産物(子・育成めん羊)頭数						合計
	前年度より	生産物区分から替	売却	廃用	死亡	計	生産物区分替	売却	廃用	死亡	計		
雌	35	10	13		-3	29	10	10			0	0	29
雄	10	13	7		-2	14	13	13			0	0	14
計	45	23	20		-5	43	23	23			0	0	43

(3) 畜産に関するイベントの開催実績

- フェルト教室 (開催回数: 7回 参加人数123名)
- めん羊毛刈り体験実習 (開催回数: 2回 参加人数21名)
- 工作・焼き絵教室 (開催回数: 81回 参加人数3,308名)
- 自然観察会(山菜・きのこ教室) (開催回数: 2回 参加人数43名)

3) 死亡牛焼却委託業務

県西部家畜保健衛生所からの業務委託契約に基づき、農家で死亡した月齢48ヶ月齢以上のBSE検査対象牛の焼却を[表12]とおりに行った。

[表12] 月別死亡牛の焼却頭数 (頭)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
焼却頭数	2	7	13	10	15	12	4	5	9	9	5	7	98